

---

# 俺の彼女が義妹（いもうと）に

鷺崎 弘

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺の彼女いもうとが義妹いもうとに

### 【Zコード】

Z5652Z

### 【作者名】

鷹崎 弘

### 【あらすじ】

ある日、俺の父さんが再婚相手を連れてきた。

その再婚相手も子持ちだつたらしいのだが……その子供は俺の彼女いもうとだつた！！

そして、籍を入れると同時に新婚旅行に行つた、とんでもない考えの父さんと新しい母さん。

そうなると必然的に俺と彼女？義妹？は同居？同棲？すること

これは幸運なのか?  
それとも不運なのか!?

## 第一話

俺の名前は葵遙。高校一年生だ。

こんな女っぽい名前ではあるが、れっきとした男である。だけど、顔つきは少し女性よりも少しが困ったことなんだ。まあ、そうは言つても、俺は男。いくら女性よりも少しが困ったとしても、実際に女性の隣に立てば俺が男であるることは一目瞭然。その程度だ。

しかし、今もさうであるのだが、小さい頃はよくこのことでからかわれた。

おかげで何度もケンカしたことや、……

本当に腹立たしいガキ共だった。

おつと、こんな愚痴どうでもよかつたな！

本題に入りたいのだが、その前に言わなければならぬことがある。

聞いてくれ。

俺には

彼女がいる……

……いや、その白痴じゃないですよ。

まあ、確かに可愛い彼女なんだけども……

待つてくれ……

怒りずに聞いてくれ！  
惚気じやがないんだ。

少し彼女との馴れ初めを話そうと思つ。

俺が彼女と出会つたのは、今からちょうど半年前。八月中旬のこ  
とだ。

俺はその時、軽い交通事故にあつた。

片足の一本の骨が折れただけ。不幸中の幸いだつた。

俺は、「せつかくの夏休みが」とか「遊びてえ」とか思つていた  
のだが、そんな時に彼女に出会つた。

出会いは病気の屋上。

たまたま気分転換に面倒くさいながらも松葉杖をついて登つてい  
つた。

彼女はそこで静かに外を眺めていた。

初めは俺も彼女も堅かつたのだが徐々に打ち解け、仲良くなつた。  
そして、俺の退院直前に俺は彼女に告白した。  
そして、付き合い始めた。

以上が、超簡略化した俺と彼女との馴れ初めだ。

「 るか、遙」

俺が彼女との馴れ初めを思い出していくと、隣で父さんが俺を呼

んでいた。

「遙。どうした？ ぼーっとして」

「なんでもないよ、父さん」

「そ、そうか？ なら、紹介しよう」

父さんはほんの五分前。家に客を一人招いた。

一人は二十代後半くらいに見える女性。もう一人は、その女性の歳の離れた妹のように見える少女だった。

「向かって右手に座っているのが日向井彩さん。隣に座っているのが娘の日向井明日香ちゃん。彩さんの娘だ」

えっ！？

母親！？

ウソッ！？

と一瞬思つたが、そんなことはすぐ頭から消えた。なぜなら俺にはもつと驚かされていることがあるのだから。

「よろしくね、遙くん」

「……」

「それでだ。父さんな、彩さんと結婚しようと思つているんだ」

それは、明日香は、日向井明日香は俺の彼女なんだっ！――！

数秒たつてようやく俺は正氣に戻れた。

「父さん……」めん、もつ一回語つてもらえない?」

「あ、ああ、彩さんと結婚しようつと思つていろつて言つたんだ。すまんな。今まで黙つていて」

父さんの結婚…再婚は別にいい。

母さんと離婚したのだって、もう二年も前のことだし、離婚するようになった原因も母さんの不倫だつたのだから。

だけど、なんでこの人と……いや、なんでこの少女の母親と……

「彩さんは、半年前に……そつ、遙が入院した時に病院で出会つたんだ」

父さん、俺と考え方が同じだよ……

「そのな、もし遙がいって言つてくれるのなら、父さんはすぐこでも彩さんと籍を入れようつと思つてゐる。明日香ひやんは前から了承してくれていたらしいからわ」

明日香が承諾!?

そうか、明日香は承諾したのか……

…その割りにはせつきから黙つて俯いてるな。  
なんでだろ?

けど、まあ、俺も父さんには幸せになつてほしいからな。

「わかつた。おめでとひ、父さん」

「ありがとひ……遙」

父さんはそう言しながら涙を流していた。

俺は心の底から良かつたな、と思つていた。

そして、父さんは涙を拭き終えてから、少し涙声で話を再開した。

「じゃあ、父さんと彩さんは婚姻届を役所に出してから、そのまま一ヶ月ほど新婚旅行に行つてくるから」

.....

「なに――… どういふことだよ。 なんでいきなり新婚旅行なんだよ!」

「仕方ないんだ。仕事の都合上、今しかないんだよ」

そういえば、十月以降の父さんが異様に働いていたのはこのためか!

なり、こいつ彩さんとやせりとヒートとかしたんだろ?

…と、今はそんなことどうでもいい。

セーデルさんは俺の悪戯をばらつけて飛ばして言った。

「じゃあ、行つてくる。一人仲良くな」

「「めんね、遙くん。明日香のことをお願いね。明日香も義兄妹で仲良くな」

.....  
義兄妹??

そうだった――――！

なんか父さんの為にと再婚を認めたけど、それって

俺の彼女が義妹いもうとになるってことじゃねえーかつ！――？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5652z/>

---

俺の彼女が義妹（いもうと）に

2011年12月18日23時47分発行